**アンケート・ピックアップ**

**6月16日　ケアプロ株式会社　代表取締役社長　川添　高志　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

　最初は圧力をかけられたり、障害があったとしても、本当に社会に必要なものは政府の規制改革や出資という形で助けられ形にできるということを感じました。つまり社会に必要なものを作らなければならない、と。また、医者、看護師が非常に忙しいという事実に対して、「医療従事者を増やす」のではなく「患者を減らす」という考え方をできたのは川添さんの原体験があったからこそだと思います。他の誰でもない自分の考え方、見方をするためには自分の体験を積み重ね考えを深めていくことが重要です。物質的イノベーションだけではなく組織的イノベーションも必要。（経営・経営・一年）

　ワンコイン検診は以前から様々なニュースサイトなどで見て知っていましたが、実際に今日の講演を聞いて生活習慣病の予防になるだけではなく、社会保障費の削減にもなる素晴らしい事業だと思いました。実際に事業につなげるまでにあたって、法が整備されていなかったなどの様々な苦労したエピソードがおもしろかったです。最後におっしゃられていた、儲かるか制度に触れないかではなく、社会に本当に必要かを念頭において、将来のキャリアについて考えてみようと思います。（理工・電子情報系・３年）

医療分野という保守・閉鎖的な市場は、改善の余地があるのに参入が非常に難しいことがわかりました。しかし、ケアプロのように、ニーズに合わせて次々と事業・活動を広げていくことは、閉鎖的な市場ゆえに、人々により良いサービスを提供していくためにも大切だと思います。また、ケアプロにインターンに行かれた方々のコメント等から、インターン生にも多くの仕事が任されており、インターンに対するイメージが変わりました。インターンを通して、多彩な人脈を築けたり、社会生活を感じることができたり、人間として変わることができたりするんだと、今回の講演を通して痛感しました。また、人生のターニングポイントで、川添さんのように自分の意思を尊重して、流されないでいられるのはすごいと思いました。また、そういった意志の強さがあったからこそ、政治的圧力にも屈せず、ケアプロの事業を続けていけたんだなと思いました。加えて、その事業が本当に必要だと思ったからこそ、頑張ったんだと思います。（経営・経営システム1年）

　まず世の中に１年以上健康診断を受けることができていない医療的弱者が3600万人以上いるということに驚きました。またこういった健診は、健診を受ける必要がある高齢者が、年金問題などにより受けることができないという話を聞いたことがあり、ケアプロのワンコイン健診は高齢者だけではなく主婦やフリーターなどの様々な人のニーズに答えた画期的な内容だと思いました。（経済　経済システム１年）

社会保障費が増えており、財政を圧迫しているという話をよく聞きますが、その解決策として「人が病気にかかることを防ぐ」ことに特化するというのは目から鱗でした。そしてかなり現実的で国にもメリットがあることなのに法律が追い付いていないという状況に疑問を感じました。（経営・経営・1年）

本日の講義で印象に残っていることが２つあります。１つ目は、インターンにかかるコストは活動支援金だけではなく、このために社長、部長と打ち合わせした時間も計り知れないということです。実際に企業で学ばせてもらっているということは、社員の方が時間をさいて様々なことを教えてくれているということなので、私が実際にインターンに行くときは、これに対する感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。2つ目は、経営者の視点で仕事するということはたくさんの重要性があるということです。その中でも特に、目の前の仕事が会社の成長にどのようにつながるのかを意識することの重要性というのが｢なるほど｣と思いました。何のためにこの仕事をしているのかがわからなければ、やりがいを感じることもできないと思います。大学生活でもこれらの重要性を生かして活動していけたらより良い大学生活を送ることができると思います。(経営　経営システム1年)

「儲かるか、制度に触れないか、ではなく、本当に社会に必要か？」という言葉が印象に残りました。これまで、この授業で講演してくださった講師の方々は、細かい言葉のチョイスは違えども、みなさん同じことを伝えて下さいました。会社などの経営を成功させてきた方々が、みなさん同じようなことをこれだけ伝えられるというのは、本当に大事なことなのだなと改めて実感しました。考えてみると、自分が儲かることだけを考えて経営を行うよりも、社会に必要かどうかを考えて経営したほうが確実に需要があり、経営がうまくいくのは当たり前のことだなと思いました。（教育・人間文化・一年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

文系の私は、人の命を助けるといった、他の人の役に立っていることを実感できる仕事はあまり無いんだろうなと思っていたけど、ケアプロのようなアプローチもできることがわかり、社会にどんな価値を与えていきたいかをベースに視野・分野を限定しないことが大切と思った。（教育人間・人間文化1年）

今まで何人もの講師の方のお話を聞いてきて、それを通して思っているのは、「世の中の不便や無駄」を見つけることが、ビジネスモデルを形成していく上で最も大切だということです。そのためには、日常の何気ない風景に疑問を抱くことができる力が必要だと思います。私も、その力が欲しいのでそれを身につけたい。（ですが、その方法が分かっていません⇒先生に相談します。）（経営部・国際経営１年）

**授業スタッフの感想１**

今回の講義アンケートでは、経営の本質について追及する人が多いのが印象的でした。今までも何度かそれについて触れている講義もあったのですが、今回の講義では特に強く言及されていて、学生の耳に残ったそうです。具体的な内容としては、「お金を稼ぐために起業するのではなくて、本当に社会に必要なものを適切に社会で提供するために起業しなければ、成功はしないだろう。」というものです。これまで何回もの講義を重ねて、様々な例の経営について学んできたと思うのですが、今回で改めて「経営」「起業」の本質について再認識されたという印象を持ちました。

**授業スタッフの感想2**

医療が発展している一方で、まだ対処しきれていない問題は数えきれない。そのなかに癌の元である生活習慣病がある。その解決策は早期対策・早期腫瘍の撲滅であるが、それは健康診断を行うしか道がなかった。そんなことに目をつけ、グレーゾーンにも関わらず、そのサービスを貫き通したのには感心した。